

## アンチドーピング、サプリメントに関する意識調査

### 【Q10の解答・説明】

① 病院で処方された薬もドーピングチェックしてもらっている。

解答：○

説明：病院でもらう薬にも禁止薬が含まれる可能性があります。医師や薬剤師がアンチ・ドーピングに関する知識を持っていない場合も考えられます。アスリート（国体選手）であることを伝えて、禁止薬が含まれない薬にしてもらいましょう。

② 風邪薬には禁止物質が含まれている可能性があるので、その代わりにコンビニで栄養ドリンクを購入した。

解答：×

説明：一口に栄養ドリンクと言っても、たくさんの種類があります。中には、禁止表に含まれているものもあります。禁止薬が含まれる風邪薬に気をつけるのは大変よいことですが、ドリンク剤にも気をつけましょう。

③ 抗生物質やインフルエンザの薬はドーピング違反にならない（注射を除く）。

解答：○

説明：今のところ、ドーピング禁止薬に該当するものではありません。

④ 親が個人輸入してくれたプロテインがよく効いたので、他の選手にも分けてあげた。

解答：×

説明：そのプロテインは本当に安全ですか？ 確実なものだけ使用するようになしてください。  
また、すすめたプロテインに禁止薬が含まれていた場合、すすめた本人もドーピング違反になる可能性があります。

⑤ 競技会場でサプリメントが配られていたが、成分がよく分からなかったので飲まなかった。

解答：○

説明：サプリメントにもドーピング禁止薬が含まれていることがあります。安全であることが確認できない場合は使用しないでください。

⑥ 海外のお土産でサプリメントをもらったが、日本のものと同じ名称だったので安心して飲んだ。

解答：×

説明：同じ名称の商品でも、日本で売られているものと、成分が違うことがあります。ドーピング禁止物質が含まれていないことが確認できない場合は使用しないでください。

⑦ 植物系ののど飴なら、天然成分なので安心である。

解答：×

説明：天然成分でも、漢方薬と同じように、禁止薬が含まれていることがあります。むしろ、植物系のほうが成分がはっきりしてないので、安全を確認することは難しいかもしれません。

⑧ 以前チェックを受けて安全を確認しているサプリメントだが、パッケージが新しくなっていたので再度チェックを受けた。

解答：○

説明：サプリメントメーカーが成分を変えているかもしれません。また、WADA禁止表（ドーピング禁止薬）は、毎年更新されます。最新の情報を確認しましょう。

⑨ 使用禁止物質を含む薬でも、申請すれば使用可能となることもある。

解答：○

説明：他の治療法が有効でなく、どうしても使用禁止薬を使用したい場合、TUE申請という制度を利用することができます。ただし、何でも申請すれば使用可能になるわけではありません。詳しくはスポーツファーマシストにお尋ねください。

⑩ 使っていたサプリメントに禁止物質が入っていたが、知らずに飲んだので違反にはならない。

解答：×

説明：知らずに飲んだ「うっかりドーピング」もドーピング違反となります。薬やサプリメントだけでなく、自分が口にするものにはいつも気をつけましょう。

【解答・説明】

一般社団法人岡山県薬剤師会アンチ・ドーピング特別委員会  
JADA 公認スポーツファーマシスト

【薬に関する問合せ先】

一般社団法人岡山県薬剤師会 薬情報センター  
平日 8:30 ～ 17:00（土日、祝祭日は休業）  
TEL：086-222-5440 FAX：086-225-2645

【その他問合せ先】

公益財団法人岡山県スポーツ協会  
平日 8:30 ～ 17:15（土日、祝祭日は休業）  
TEL：086-256-7101 FAX：086-256-7105